事例No.	2703
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	公益財団法人佐賀未来創造基金

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・新たな政策手法の確立・活用 ・社団法人・財団法人

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

公益財団法人佐賀未来創造基金

出典

令和元年度ふるさとづくり大賞事例集

団体表彰

公益財団法人佐賀未来創造基金　佐賀県佐賀市

まちなか再生　コミュニティ

概　要

近年、人口減少、少子高齢化問題等から派生する地域課題に対して、行政のみで対応策を講じていくことは困難となりつつあり、行政・CSO※・県民の全てが主体となって地域を支えていく仕組みづくりが求められている。

これを受け、CSO（Civil Society Organizations 市民社会組織）及び行政、大学、金融機関、経済界など県内の様々な分野や立場から一般財団法人佐賀未来創造基金の立ち上げ準備が進められ、平成25年に設立（同年に公益財団法人化）。

設立後は、県民や企業から寄付金を集め、様々な事業に取り組むCSOへ助成することなどにより、地域や社会が抱える課題解決、地域活性化に資する取組を進めている。



【多様な主体と課題解決を紹介する「さがつくAWARD」】

評価された点

・CSO支援により具体的な成果を上げている好事例。財政・ソフトの両面からの支援体制により、プロジェクトが立ち上がり、自走できている優れたモデルケース。
・地域課題を解決するために、少額での市民からの寄付をまとめ、その資金を必要な団体や地域に配分している。プラットフォームであり、素晴らしい事業成果である。
・地域課題の解決に向けたCSOの活用の先行事例であり、産学官金・市民の総出による展開は先進的である。累計で260件、６千万円を超えるCSO団体への助成からも、継続性と発展性が読み取れる。課題解決に向けた伴走的な取組は協働性が高い。
・日本のコミュニティ財団のモデルとして評価できる。寄付仲介を通じて地域づくりに多大に貢献しており、評価に値する。こういったまちづくりインフラを積極的に評価したい。



【荏原環境プラント「e-さが基金」助成贈呈式】